



総合エンタテインメント企業 として革新的な感動体験を 創造し、豊かな社会を 実現する。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役会長グループCEO

里見 治

革新者として社会の新しい価値を創造

セガとサミーの経営統合から10年以上が経過し、私たちを取り巻く事業環境も大きく変化しています。このような状況において、「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というグループミッションのもと、50を超えるグループ会社が丸となって社会の変化や技術革新に機動的に対応し、時代に合った良質なエンタテインメントを創造し続けることが私たちの存在意義であると考えています。

変化の潮流が激しいエンタテインメントの世界で常に価値を提供し続けるためには、遊技機、エンタテインメントコンテンツ、リゾートの各事業がそれぞれの業界における「革新者」であり続けなければなりません。あらゆるエンタテインメントにおいて社会の期待を超える感動体験を提供し続けること、また、そのことを通じて社会の発展や豊かさに貢献していくことで、企業価値の持続的な向上を実現してまいります。

人財の力をさらなる成長のエンジンに

あらゆる世代へ革新的で良質なエンタテインメントを提供し続けるセガサミーグループの原動力は、8,000名に迫る人財が持つ柔軟で斬新な発想力やチャレンジ精神、何としてでも最後まで成し遂げようとする「突破力」です。そして、その人財交流の活性化による事業間の連携強化やシナジーの創出を目的に2018年8月、グループオフィスを集約しました。また、職種や生活スタイルが異なる従業員それぞれが生き生きと働くことで能力を発揮し、新たなイノベーションを創出できる環境づくりが今後のグループの成長の基盤になるとの考えから、柔軟な働き方を実現する制度に改革しました。

私たちが生み出す感動体験は、人々の心のゆとりや明日への活力となります。このことを全従業員が誇りに思っていて働くことができるよう、職場環境の整備と新制度の導入というハード、ソフト両面で施策を展開し、さらなる飛躍につなげてまいります。

世界ナンバーワンの総合エンタテインメント企業になるために

セガサミーグループは、エンタテインメントの究極の形といえる統合型リゾート (IR) の国内での実現を目指しています。

そのために遊技機やパッケージゲーム、アミューズメント施設経営などで培ってきた企画力・開発力・営業力といったノウハウや知見は、大きな強みとなります。

国内IRが実現すれば、新たな雇用の創出やインバウンドの増加に伴う国内・地域経済の活性化による財政の改善、国際競争力の強化といった、さまざまな好影響を生み出します。すなわち、国内IRを実現することは、日本の新たな基幹産業を育成することと同義だといえます。ホテルや商業施設、レストラン、劇場、コンベンション施設、カジノなどからなる総合エンタテインメントであるIRを訪れた人々に、日本ならではの感動体験を提供することで多くの笑顔をもたらすことができるのです。

セガサミーグループ全社員が「世界ナンバーワンの総合エンタテインメント企業になる」という夢を共有し、多くの人の笑顔と日本の将来のため、国内IR参入に向けて最大限の努力を続けていく覚悟です。

感動体験を通じた豊かな社会の実現

私たちは、いつ、いかなる時でもエンタテインメントを通じて世界中の人々に感動体験を届け、国際社会における「よき企業市民」であるべく、次代を担う子どもたちの育成を目的としたスポーツ・芸術文化への支援、社会・地域貢献活動、環境保護活動など、さまざまな活動を展開しています。

加えて、国際社会の持続的な発展に寄与するため、日本のゲーム・遊技機業界では初めて国連グローバル・コンパクトに署名し、国際社会の持続的な発展に寄与してまいりました。昨今は企業に対し、事業を通じた社会課題解決への貢献が一層強く求められています。永続的に企業活動を行っていくためには、あらゆるステークホルダーから信頼を獲得することが不可欠です。コンプライアンスの遵守を徹底しつつ、世界が抱える問題を解決し、持続可能な社会をつくるために日本を含む193の国連加盟国の合意のもとで採択された、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標 (SDGs)」達成の貢献に向けての取り組みを行ってまいります。

セガサミーグループは自由で創造性・独創性が溢れる企業風土から皆さまが望むものを超越する感動体験を生み出しつづけることで、豊かで、笑顔が絶えない人生が送れる社会づくりに貢献していきます。

グループとして強固な 一体感を持ち、 “感動体験”の創出で世の中を カラフルにしていきます。

セガサミーホールディングス株式会社
代表取締役社長グループCOO

里見 治紀



「負」を超える「正」の感動体験で社会をカラフルに

セガサミーグループは、我々が目指す未来の方向性を個々の社員が明確に理解・実行するための指針である「ミッションピラミッド」を設定しています。そして、その中で私たちの存在意義を示す最上位の概念として「感動体験を創造し続ける～社会をもっと元気に、カラフルに。～」というグループミッションを掲げています。

エンタテインメントには、社会に対する「正」の部分だけではなく、ゲームが子どもに与える影響や遊技機へののめり込みなど、「負」の側面も指摘される宿命があります。2011年3月の東日本大震災では電力不足の中、パチンコホールやゲームセンターなどの娯楽施設で使用する電気量が問題となり、我々の提供するエンタテインメントの存在意義そのものが問われました。

たしかに、発災時にはライフラインの確保が最優先です。しかし、インフラが整ったところで、人々の心が荒んだままでは真の復興とは呼べません。本当の意味での復興には、一人ひとりに「明日への活力」が備わることが必要です。そして、それを提供できるのがエンタテインメントだと私は信じています。「負」を超える「正」の「感動」を提供していくことこそが、エンタテインメント企業としてのセガサミーグループの存在する意義であり、果たすべき使命だと考えます。

こうした想いを込めたのが、グループミッションにおける「～社会をもっと元気に、カラフルに～」というサブタイトルです。私たちは、社員が胸を張って「黒や灰色といった暗い色よりもっと明るい色を社会に提供する」という志を貫くことができる環境づくりをすすめ、その環境を土台にすることで世の中をもっとカラフルなものに変えていきます。

働き方「改革」から「改善」へ集大成

すべてのステークホルダーの中で最も優先されるべきは、人材だと考えます。優秀な人材がいるからこそ、お客さまに満足いただくことができ、お客さま満足が実現できてはじめて株主価値を提供できます。セガサミーグループではこのような考えのもと、人材の育成と能力を最大限に発揮させていくための

様々な取り組みを進めてきました。

その中核となる「働き方改革」については、労働時間や会議の回数・時間の大幅な削減、働き方の多様化等、徹底的に改革を推進してきました。2018年4月には、職種や生活スタイルなどが異なる従業員それぞれが、いきいきと働くことができ、そして能力を最大限発揮できる環境を整備することが今後のグループの成長に向けた基盤になると考え、業界に先駆けて副業制度【JOB+（ジョブプラス）】を導入しました。

また、同年8月にはグループ本社機能を集約しました。これにより、経営効率の向上や事業会社間の人財交流・事業連携の活性化、コワーキングスペースに誘致するベンチャー企業などとのシナジーによって、これまでにないイノベーションの創出が可能となります。私たちの働き方改革は、「改革」から「改善」という集大成のフェーズに移行していきます。

企業文化を醸成し、世界規模の課題解決に貢献

セガサミーグループは2018年8月、グループのブランドロゴをリニューアルしました。すべての文字がつながった新しいロゴと本社機能集約によって、グループとして概念的にも物理的にも強固な一体感が生まれ、持続的な成長と企業価値の拡大実現を目指します。また、それぞれの事業会社の文化を融合して「セガサミーグループの文化」を醸成していきます。

国連による「持続可能な開発目標（SDGs）」の採択以降、企業には自社の成長だけでなく、本業を通じた様々な社会課題解決による持続可能な社会への貢献が求められています。こうした要請に応えることは、エンタテインメントを通じて人々の暮らしを豊かにするというグループの経営理念とも合致します。

我々の本業であるエンタテインメントの本質は、製品やサービスの提供でなく、お客さまの期待を良い意味で裏切る“感動体験”の創出です。セガサミーグループは全社員一人ひとりが結束し、これからもその本質を追求するという目標に向かって力強く進んでいきます。